

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年5月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【全面マスク着用エリアへの半面マスクでの入域について】                      協力企業作業員が、Y装備に全面マスクの着用が必要なエリアである1・2号サービス建屋へY装備に半面マスクの着用で入域し、その後休憩所において装備確認を行う委託管理員に指摘を受けた。                      当該協力企業作業員は、同休憩所についてはY装備であればマスクが半面・全面にかかわらず利用できると思いこんでいた。                      当該協力企業作業員に対し、汚染検査を行い、入域させ退域時に予備の全面マスクを渡して退域させた。                      なお、「半面マスクでの1～4号機周辺建屋内への立入禁止」、ならびに「1・2号および3・4号サービス建屋休憩所についても、半面マスクでは利用できない」ことについて、元請け協力企業担当者、協力企業作業員全員に周知した。                      今後、詳細の状況確認を行い、対応を検討する。</p>	G II	4月26日
2	<p>【1～4号機出入管理所における作業員の管理対象区域境界ゲートの逆行について】                      1～4号機出入管理所でAPD・ガラスバッチ所持チェックを行う委託管理員が、1～4号機への管理対象区域境界ゲートを逆行して、汚染の恐れのない区域へ戻った協力企業作業員を確認した。                      当該の協力企業作業員は、境界ゲートである逆行防止回転ゲートを通過した後に忘れ物に気づき、取りに戻るために逆行し、その後再度管理対象区域へ入域した。この際、委託管理員の制止指示は受けていた。                      なお、協力企業作業員は出入口管理所の建物を出て現場への出向はしておらず、本人が移動したルートの汚染確認測定を実施して、汚染が無いことを確認済み。                      今後、詳細の状況確認を行い、対応を検討する。</p>	G II	5月9日